

(令和 7) 年度

児童館事業年間活動報告書

(向島南) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内容	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子ども 育 成	(1)遊びの教室活動	248	391	58	1369	73	210	0	369	1	0	1	2472	みんな遊び・将棋・けん玉・オセロ等ボードゲーム・折紙クラフト・レゴ、カプラ、積木等の構成遊び・サッカー、ドッジボール、バスケット等のスポーツ系・一輪車・書道教室、クラフト教室など(乳幼児の遊び内容は乳幼児クラブ)	学童クラブ活動と併用という形だが自由来館児童も希望があれば参加自由で、関口を広くして取り組んでいる。今年度はクラブ所属児童に誘われたり、旧所属児童の参加が増えてきている。
	(2)行事活動	45	20	28	1322	24	297	0	84	1	3	5	1784	エコとクリーンの日・防災と安全の日・企業等との連携企画・おやこ自転車教室 紙飛行機飛行距離・飛行時間測定会・エンジョイプロジェクト2025 他	教室活動同様、参加募集(申し込み制)したり、可能な企画なら、参加自由で取り組めるようにしている。
	(3)クラブ活動	134	0	91	877	66	161	5	1	0	0	0	1201	クラフト教室(各学童・中高生向け)・百人一首クラブ・将棋クラブ(将棋教室)・けん玉クラブ(検定)他	検定の実施や交流会・大会参加など明確な目標を設定している。また中高生を対象にした取り組みは「中高生クラブ」にブックキングしてクッキングを行ったりして参加している。
	(4)地域間交流促進活動	15	0	9	0	44	56	16	0	0	4	0	129	やんちゃフェスタ・五色百人一首京都府大会、連盟子ども将棋交流大会への参加・淀児童館との将棋・遊び交流会他	大会の仕様がコロナ禍以降変更があり、引率形式が取りにくくなっているが家庭の方に案内等を積極的に行ってきた。参加児童も成果を出していて自信を高めているので今後も継続して取り組んでいきたい。
	(5)障害のある児童の居場所作りと活動への参加	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	2	館活動・学童クラブ活動の中で常にノーマライゼーション(インクルージョン)の意識情勢に取り組んでいる。今年度は 放課後デイサービスとの併用利用があり、送迎・取り組みなど児童が生活になじんでいくようすめた。	毎年ユニバーサルデザイン応募にも積極的に取り組み意識作りを行った。今年度は放課後デイサービスとの併用される児童が入ってこられたが 違和感なく集団に溶け込めるよう働きかけを怠らな活動
	(6)思春期児童の活動支援	130	0	0	0	0	0	354	0	0	0	0	354	バスケット・ボードゲームを楽しむ会・中高生クラブ・中高生クッキング 中高生赤ちゃん交流 他 ※学校との確認事項で 定期試験公示期間から試験終了までは利用方法を「勉強場所提供」ととめていた。	継続してバスケットボールの利用は多かった。またかつて学童クラブ参加の中高生たちが参加してくれることが増えてきてクラブ・クッキングを楽しくできる姿が見られる。
	合 計	573	411	186	3569	207	725	375	454	2	7	6	5942		
機 能	(9)地域を知る活動	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2	とんどへの協力(行事に協賛・学区社協活動の支援・館を休憩所等で提供・児童に広報)	子どもに地域の歴史を伝え、自分の育つ地域の歴史に誇りを持てるよう保護者と共に学ぶ機会とする。実施は日曜日という事もあるので参加への呼びかけやポスター掲示等を行ったり館を休憩場所として提供する。
	(10)移動児童館活動	2	39	1	0	0	0	0	17	0	0	0	57	みんなおいでいっしょにあそぼ向島版(向島地域児童館・保育園民生委員等合同取組み)企画支援及び実施・学区社協合同子育てお出かけ隊等の実施。	従来の活動パターンを取り戻しての活動になった。他団体との連携で企画を持ったり、学区社協との「子育てお出かけ隊」も地域のちびっこ広場に出て実施してきている。
	合 計	3	39	1	2	0	0	0	17	0	0	0	59		
子ども育成機能 合 計		576	450	187	3571	207	725	375	471	2	7	6	6001		

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)配慮を必要とする子どもへの対応(7)中高生世代の活動支援(10)エコ活動に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(11)子どもが地域を知る活動(12)移動児童館活動(14)伝統文化に触れる活動に分類して記入すること。

(令和 7) 年度 児童館事業年間活動報告書 (向島南) 児童館

	活動名	実施回数	参加人数										内 容	成果と課題	
			乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	ボランティア					合計
				自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子ども 家庭 支 援 活 動	(1)①乳幼児クラブ (0歳～就学前)	123	371	0	0	0	0	0	349	0	0	0	720	手遊び・読み聞かせ(絵本・大型絵本・紙芝居・パネルシアター)・サーキット遊び(平均台等)・感触遊び(小麦粉粘土・寒天・砂遊び等)・滑り台・お絵描きあそび・新聞紙千切り遊び・おままごと・季節ごと(行事に合わせた)の遊び 他	夏季期間(学童夏休み)に空間の限りから安全面に問題があるのが現状。クールステーション時期に乳幼児クラブの回数が確保できない事が課題。地域的な児童数減少の反映が、少し参加状況が減少しているが、来ていただいた家庭は、繰り返し来ていただいている。近い乳児関連の団体(はすのみ)等と連携を広げて 相互の連携を押し進めていく。
	(1)②子育て ほっと広場	268	563	0	0	0	0	0	573	0	0	0	1136	絵本読み聞かせ・おはなし会・大型遊具遊び・積木遊び等	気軽に保護者が井戸端会議ができるような雰囲気作りを心掛けている。また一人で見えた場合は職員が話し相手として何気ない会話から相談事なども含めて対応することを心がける。
	(2)家庭参加を 促す活動	56	217	0	0	0	0	0	206	0	0	0	423	子育て講座・おやご自転車教室・発育測定・誕生お祝い・親子リトミック・季節行事(たなばた会・ハロウィン企画・クリスマス会・節分会・ひなまつり会) 子育てお出かけ隊・メモリアルカード作り・記念缶バッジづくり 他	家庭教育力向上への支援として各分野・方面からの講師を依頼したり、団体の援助を得て内容に広がりを図っている。
	合 計		111												
活 動	(3)子育て家庭相談・援助活動	子どもの年齢	件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容		件数	つないだ機関等		件数	
		乳児 幼児 小1～3年(自由来館) 小1～3年(学童) 小4～6年(自由来館) 小4～6年(学童) 中学生 高校生	1	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 保健福祉センター 主任児童委員 その他 { }				7	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }		5 1 1	児童相談所 保健所 保健福祉センター 幼稚園・保育園 小学校 中学校 総合支援学校 その他 { }		3	
		件数 計		-				7	-		7	-		3	
活 動	(4)子育てグループを育成・支援する活動	グループ名	構成人数	活 動 内 容				育 成 ・ 支 援 内 容		成 果 と 課 題					
		現在決まったグループの利用はなし								現在利用家庭のお子さんが、小さい事もあってまずは参加してもらう事が中心。主体的、自主的に活動してもらうには負担が大きい。継続して乳幼児クラブ等のかかわりを通して構成できるよう引き続き今後も留意していく。					
推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関する啓発活動	活動名	実施回数	活 動 内 容				成 果 と 課 題							
		みんなおいでいっしょに遊ぼう島版	5 (会議も含む)	みんなおいでいっしょにあそぼう島版年2回企画を担当団体とともに実施支援する。				日頃児童館の乳幼児クラブに来てくださっているご家庭が、こちらの広報により、お友達のお母さんと一緒に参加して下さるなど、微々たる広がりであるが、続けていくことに意義があると思う。							

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動] (2) 家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地 域 福 祉	基 本	(1) 地域住民との交流を促進する活動	活動名	実施回数	主 催	参 加 人 数						連携団体	成果と課題		
			児童館まつり～エンジョイプロジェクト2025	1	向島南児童館	乳幼児	小1～3年		小4～6年		中学生	大人	合 計	社会福祉法人 向島保育園	少しづつ参加対象を広げていく事を目標において活動を計画。昨今の気候状況から熱中症対策として昨年同様9月に時期をずらした。保護者にも参画してもらう事が出来た。関連団体の支援を得るためには時間帯・内容・体制にもう一步工夫・検討が必要。
						自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ						
						25	40	16	16	0	0	79	176		
おやこ自転車教室	1	向島南児童館	0	2	13	0	0	0	0	15	伏見警察署	地域の交通安全のために今年度三度目になるが伏見警察署の指導のもと社協や民生との協力もあり「自転車教室」を実施。保護者にも案内をして「親子参画」で行った。			
合 計		—	25	42	29	16	0	0	79	191					
社 会 促 進	本 活	(2) ボランティア活動の推進	活 動 内 容		活 動 人 数				成 果 と 課 題						
			①遊びの指導活動 ②クラブ活動指導補助 ③イベント手伝い 他	中学生	大学生	大人	合 計	昨年度と引き続き元学童クラブ所属児童が中学生になって訪問してくれたのをきっかけにイベント手伝いをしてくれた。日常のクラブ活動に参加したり、遊びやクラブ活動指導補助をしてくれたりという事が増えてきている。また、その友人関係で館の方に遊びに来てくれたりと少しづつ、運営とまではいかないが、補助スタッフとして活動してくれるようになってきている。また地域のボランティアとして仕事が休みの時に、来てくださる地域の方とのつながりも今後も大切にしていきたい。							
				8	5	96	109								
合 計	8	5	96	109											
機 能	動	(3) 地域との連携を促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容						成 果 と 課 題					
			「みんなおいでいっしょにあそぼ向島版」関連団体(地域保育園、児童館、民生委員会等)	向島地域の民生員会、保育園、児童館等が協働して年5～6回(およそ隔月)の会議・企画をもち、地域の乳幼児親子への企画実施や各団体の動き、地域の情報交流を行っている。						今年度主に回の会議を行い各団体の動きや地域に関する情報交流を行っている。また今年度も地域の乳幼児親子を対象に2回のイベントを実施することができた。					
			向島南学区社会福祉協議会 向島南学区民生委員	学区社協・学区民生委員の子育てサロンと、月の第三週木曜日に児童館内で共同して実施している。また季節ごとの行事や取り組みを共同して実施したり、情報交流を行うなど情報共有をしている。						行事のたびの子育てサロンは大変盛況で、日本文化としての行事の飾り物制作など、若い世代の保護者に伝承していくという、側面もあり大変いい機会であると思っている。今後も協力して地域の子育てに寄与していきたい。					
			伏見区本所地域要保護 児童対策地域協議会	児童虐待をはじめとする地域の子育ての実態や諸課題についての情報交換を図り、その対応について共通理解を図っている。						児童虐待をはじめとする地域の子育ての実態と課題について情報を得る機会と共に情報提供する機会となる。					

基 本 活 動	(4) 児童館を支える地域 組織づくりと運営	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度	議題／取組内容	成果と課題
		協力会		向島保育園 向島南学区社会福祉協議会 向島南学区児童民生委員会		適宜	年間活動の予定確認 子育てお出かけ隊はじめとする年 間の連携活動に関する打合せ 次年度の活動の方向性について 他	各団体にとって別個に会議を設 定する大変さもあって、取り組み の後に随時予定検討、報告等を行 っている。
地 域 福 祉 促 進 機 能	(5) 地域への施設等の 提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）		成果と課題
		遊戯室 複合機 育成室～図書室		会議準備作業 各イベント他掲示・配布物印刷 会合		向島保育園 向島南学区社会福祉協議会 向島南学区児童民生委員		日頃の活動連携の関係で場所、印刷等の事務等が便利 だとして、館を積極的に利用いただいている。今後使用幅 を広げる時、会場使用料等を整える必要があるのか検討 中である。(現時点では利用申請書提出のみ)
		遊戯室・育成室・図書室 館庭 複合機		子育てサロン開催 ペタンククラブ活動 広報ピラ等の印刷 他		向島南学区社会福祉協議会 向島南学区体育振興会		日頃の活動連携の関係で場所、印刷等の事務作業等が 便利だとして館を積極的に利用いただいている。体振で のペタンクの活動はメンバーの規模もあるがスペースが 広すぎても取り組みにくいという事もあって、館庭ぐら いのスペースが良いと重宝されている。今後使用幅を広げ る時、会場使用料等を整える必要があるのか経過観察中 である。
推 進 機 能	(6) 地域調査活動	調査名	調査目的	調査対象	調査主体	調査方法	成果と課題	
		登館・帰宅経路の現状確 認	経路の安全性・適切性の 確認・見直し	登館経路の確認・帰宅経路 の道路環境及び周辺環境 の確認	向島南児童館	職員の目視による実態調査 及び安全マップ等利用しな がら再確認を行う。	1年生が慣れるまで学校から児童館への送迎を行うと共 に、送迎をしながら危険箇所、児童の動きなど確認して いった。 9月までは車通りの多い横断歩道で児童の安全とともに、 車の往来なども確認している。	
推 進 機 能	(7) 地域の子どもの居 場所との連携・交流	連携・交流先		取組内容			成果と課題	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広 報 活 動	「Mukaijimaminami 児童館だより」	12回 (月1回)	学童クラブ加入全家庭、学校及び当該施設設置場所の元小学校施設長、乳幼児クラブ参加者。児童館法人理事、評議員。	①児童を通じての配布 ②事業所並びに自宅へ配布 ③配布可能な会合・イベントでの配布 ④館内配架 ⑤掲示板(地域含め)掲示	① 児童館活動、学童クラブ・乳幼児クラブ・母親クラブの前月の活動の様子を文と写真で知らせる。 ② 当月の活動予定(参加募集等)を知らせる。 ③児童館からのお知らせやお願い事項を掲載する。	児童館と学童クラブ保護者、乳幼児クラブ・母親クラブ参加者との連携に役立っている。また 児童館の様子をイメージしてもらうのにも役立っている。現在利用のアプリには写真を掲載しない事も保護者にご理解いただいているので児童館だよりの写真は楽しみにしていただいている。今後も より魅力ある紙面を目指し、一層の紙面の充実を図り、関心を高めていけるようにしたい。
	「つくしんぼ通信」(児童館 だより乳幼児クラブ版)	12回 (月1回)	学童クラブ加入全家庭、学校及び当該施設設置場所の元小学校施設長、乳幼児クラブ参加者。児童館法人理事、評議員。	①保護者を通じての配布 ②事業所並びに自宅へ配布 ③配布可能な会合・イベントでの配布 ④館内配架 ⑤掲示板(地域含め)掲示	① 主に乳幼児クラブ・母親クラブの前月の活動の様子を文と写真で知らせる。 ② 当月の活動予定(参加募集等)を知らせる。 ③児童館からのお知らせやお願い事項を掲載する。	児童館と学童クラブ保護者、乳幼児クラブ・母親クラブ参加者との連携に役立っている。また 児童館の様子をイメージしてもらうのにも役立っている。より広範囲に配布できるよう 配布先の拡大と同時に 紙面の充実にも努めていきたい。ただ傾向として紙ベースで持ち帰る家庭が減っているように思われるので 今後データベースでの広報をより進める形になっていくと思われる。
	児童館掲示板掲示	随時	地域住民	①児童館前(小) ②元小学校北東角掲示板 ③館正門横新規掲示板三カ所に児童館だより・お知らせ・お願い事項等を掲示する。	①児童館からのお知らせ・お願い事項等の掲示 ②毎月の各「児童館だより」 ③京都市他 各種団体からのお知らせ・案内 ④イベント参加募集等のお知らせ ⑤他団体イベント等の案内・お知らせ	学校東南角、門横柵、門前小掲示板を有効活用し、館の取組から地域イベント、市行政からの広報等見やすく掲示できるようになってグラウンドゴルフ等参加の地域の方が目にしていけることが少しづつ増えている。今後も掲示の仕方等工夫していきたい。
	京都市児童館ホームページ並びにSNS(インスタグラム)	毎月1回更新 (並びに随時)	ネットユーザー(保護者及び児童を持つ家庭や中高生を 主に対象)	児童館学童連盟HP インスタグラム(遊び内容の写真、イベント予定・案内)	児童館の概要並びに取り組みや行事の紹介・案内、イベントの開催案内	不特定多数に閲覧されることに留意して内容をしっかりチェックしている。また当館としては現状、インターネット上に児童の写真をアップすることを個人情報保護の観点から良しとしていないので メインは企画の予定お知らせ・案内になっている。SNSの利用に関しては 企画のイメージを持ちやすいように 今年度より遊び内容・遊具の写真をインスタグラムにあげて広報する。(子どもの姿はアップしない)

(令和 7) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(向島南) 児童館・学童保育所

	活動の基本目標 (指針)	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活 援助 機能	安全・衛生の確保	・館内生活並びに施設使用の決まりやマナーの指導。遊具の安全な使い方などの指導。 ・登館指導・帰宅指導 ・避難訓練、災害時緊急対応指導 他	・児童館の施設や用具を利用するための諸注意、決まりやルールの定着、マナーについてその都度、また機会を見ておわりの会などで指導を継続してきた。また当番活動の一つである自分たちの片付け等の点検行動を通して道具の片付け、整理が身につけてきている。引き続き指導・取り組みを継続していく。 ・4月～5月にかけて新1年生への登館指導、集団帰宅にあたり、交通並びに不審者に対応できるような安全指導をしてきた。安全、マナーの面での一層の向上を目指し働きかけを行っていく。 ・地震・水害・火災・不審者等想定して避難訓練を実施してきた。また台風時の注意等 ビデオ映像や画像等使いながらできるだけわかりやすいよう伝えてきた。
	健康の管理・情緒の安定	・手洗い、うがい等保健衛生週間指導 ・トイレの使い方指導 ・感染症予防の指導 (検温・手洗いの励行)	・従来から登館時 (帰館) と昼食・おやつ時間前に手洗いの習慣化に重点的な指導を行ってきた。ともすれば手洗いなど適当に済まされることもあるので定期的に 手洗い確認、指導を取り入れている。現在手拭きはペーパータオル使用を衛生的な観点から続けているがペーパーの大量消費に関して代理案が確定できず引き続き検討が必要である。 ・トイレ指導は、使用マナー (スリッパ着脱、水洗等) は継続して指導している。また失敗したケースもそれぞれに合わせて事後対応を行いサポートしている。
	基本的な生活習慣の確立	・あいさつ習慣指導 ・整理整頓後片付けの習慣指導	・3つの「あ」を当館の生活のめあてとしている。「あいさつ」「あんぜん」「あとかたづけ」を児童に呼びかけ、指導の目安としてきた。上級生からの良い意味での影響も含め少しづつ定着してきている。今後も根気よく指導を続けていく。
	社会生活技術の獲得	・エコとクリーンの日 (施設の清掃・片付け・エコロジーの知識等) ・作って食べようクッキング教室 ・作って遊ぼうクラフト教室 ・当番制による整理整頓・片付け点検の活動	・毎月1回エコとクリーンの日を設け、子ども達と共に大掃除を実施。雑巾の使い方、幕の使い方等を指導しながら環境美化等の意識を高めるようにしている。 ・クッキングを通して調理の方法を理解し、班で友達と協力し、調理試食後片付けまでを行う。 ・毎月1回「作って遊ぼうクラフト教室」の時間を設け、手作りおもちゃや身近な飾りなどに挑戦できる取り組みを行っている。 ・終わりの会の前に班活動の一つとして外遊びや館内遊具、設備などの整理整頓、点検を児童の手で行っている。この活動により児童館の物を大切にしたり整理整頓についての重要性を理解することができ、自主的な活動としても大切な取組となっている。
子 ど も 育 成 機 能	生活体験の拡大	・「エンジョイプロジェクト～児童館まつり」 ・やんちゃフェスタ (梅小路公園) ・遠足等の館外活動	・昨年に引き続き「児童館まつり」をメインに 夏季期間の取組をトータルに楽しもうという事で児童の参画を考えながら取り組む試みを始めた。それぞれのイベントを単発でなく、系統性を持たせて児童が企画の内容や運営を考えながらできるようにすることが目標である。各イベントにおいては児童の意見を取り入れ、児童が運営に参画し進めることができた。今後も継続、発展させていきたい。 ・今年度の遠足は「梅小路の鉄道博物館」へ行った。異年齢構成の班活動で、クイズなどにも挑戦しながら見学することができた。昨年はバスを利用し交通費がかかってしまったことで、今年度は見直しとして、沿線の近鉄電車を利用できる場所を設定した。今後も交通費については検討事項となる。
	社会性の養成	・異年齢集団 (中高生含) による遊びの経験 ・「みんな遊び」 (基本全員参加) による異年齢交流 ・館内及び近隣児童館等の交流、京都大会等のより幅広い児童集団への関わり・参加の促進	・児童館生活目標「なかよく、たのしく・げんきに」を掲げ、異年齢児童が集う児童館の特性を生かした縦割りグループによる遊びを進めてきた。また毎月1回全体で遊ぶ「みんな遊び」にも取り組んでいる。3年生以上が参加する「あそび会議」も定着しており、前回の遊び反省等も含めて低学年等に考慮しながら内容を考えている。弱者を気遣う上級生の心が育ってきている。引き続き遊びを通して創意工夫したり、他を思いやる心や互いを尊重し合う気持ちを育てていく。 ・今年度、淀児童館、城南児童館、ももやま児童館とあそび、将棋、百人一首、伏見～るるたど他館との交流を実施した。他館と交流することで、切磋琢磨したり、児童だけではなく厚生員も他館から刺激を受けることができ、今後も意欲的な交流をめざしていくつもりである。
	自立の促進と自主性の尊重	・入部式・修了式 ・誕生会 ・年間思い出アルバム ・伝統的な遊び (けん玉・百人一首・将棋等) への取組及び競技・検定等への挑戦 ・企画・運営への積極的な参画による自主性尊重	・誕生会や季節の行事を通して、児童に自分への振り返りや成長の確認をする機会を設けることによって、自立の意識や自主性を育てる取り組みを行ってきた。 ・児童たちの交流の場や、季節の花を愛でることを目的に、昼食を桜下でお花見昼食を実施しており、児童も毎年大変楽しみにしている。 ・コマ回し、けん玉、将棋、百人一首かるたなど伝承遊びを紹介し、自ら進んで活動したり、より自分を高めようとする意識を育てるように取り組んできた。子どもたちの持続力には、個人差があるので多様なものが提供できるように工夫することが課題である。例えば けん玉では 新1年生へのパフォーマンス、イベントでの発表といった節目を作りながら継続できる工夫を行っている。
子 育 て 支 援 機 能	子育てに必要な情報の提供	・児童館だより、児童館だより地域版、つくしんぼ通信 (乳幼児クラブ版) の発行 ・アプリ「うえぶさくら」を活用してのアンケート、活動参加募集その他の情報提供	・毎月「児童館だより」「乳幼児クラブ版」の2種を発行し、取り組みを発信している。保護者、自由来館利用者、地域に向けて引き続き情報発信を続けている。 ・学童クラブ保護者との連絡方法としてアプリ「うえぶさくら」を継続活用している。保護者の連絡方法としてはこのアプリを通じて出欠連絡やメッセージのやり取りを行っている。またアプリ利用を得意としない保護者に向けても「メッセージカード」を用意する等工夫している。アプリの仕組みやコンテンツ等使いにくい側面もあり充実に向けて、保護者の声を届けていく必要もある。
	子育ての仲間づくり	・児童館まつり (エンジョイプロジェクト内) での手伝い、保護者懇談会等を通しての交流 ・HPや掲示板の活用	・広報として「児童の様子かわかる写真」を掲載した方がイメージが付きやすいという点は理解できるが、「児童の写真ネットにアップロードする」という点で その安全性の観点から現時点では、児童の写真やHP等にアップすることは行っていない。しかし児童館の様子をイメージしてもらいやすいようにと、取り組みに関連した写真を掲載し参加しやすい状況をつくるようにしている。その成果あつてか、乳幼児クラブなどは利用者数は増えている。
	子育てを支えるネットワーク形成	・保護者説明会、保護者懇談会等の開催 ・学校 (元小学校含む) との連携 ・基幹子育て支援ステーション活動 ・地域諸団体との連携	・年2回保護者懇談会の開催を行った。保護者と直接話ができる数少ない機会なので児童館での様子を伝えている。また日頃の疑問、不安などが相談できる機会としている。保護者会については、保護者に取り組む余裕がないとの強い意見がある中、まず児童館の活動の中で「取り組みたい内容」で「取り組める保護者」から参加してもらうことから始めている。・基幹ステーション団体との連携はもとより、学区内にこだわらず 向島地域全体を視野に入れた団体間の連携を視野に入れて その方法を模索している。

(令和 7) 年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

(向島南) 児童館・学童保育所

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中学生	大学生	大人			
(1)エコとクリーンの日	12	106	154	104	41	23	1	7	4	0	0	0	0	440	主に月中旬に日を設定して、エコロジーと整理整頓、清潔についての意識を他県取り組みをしてきた。身近な省エネについての意識を高める指導と全員による大掃除に取り組んできた。
(2)誕生会	12	169	211	152	49	29	3	12	5	0	0	0	0	630	毎月月末に その月に誕生日を迎えた児童の誕生会を実施している。全員でケーキをいただいてお祝いし、該当児童は、自分の抱負と将来の夢などを発表している。児童館からは、写真入りバースデカードとお祝いプレゼントをしている。
(2)みんな遊び	12	148	207	139	53	30	2	13	19	1	0	1	0	613	3年生以上で構成されるあそび会議で考えられた集団遊びプログラムをもとに、1年生から自由来館児童を含め異年齢で取り組んでいる。
(2)遊び会議(3年生以上)	12	*	*	122	32	21	2	0	1	0	0	0	0	178	3年生以上の上級生に参加してもらい、次月の「みんな遊び」の内容を検討・決定する児童主体のプログラム検討会議を実施している。積み重ねていることもあり、遊びに対する提案や低学年への配慮等、児童たち自身お成長がみられる。
(2)エンジョイプロジェクト 2025	17	57	198	210	110	44	7	4	4	0	0	6	101	741	夏季期間のいくつかの取組をトータルに関連付けて楽しむためのプログラム。児童館まつりをクライマックスに持つ形で計画実施する。メインの祭りでは児童が主にコーナー企画・運営をすることにより実施する。また「けん玉パフォーマンズ」等発表の場も設けている。
(2)けん玉検定(もしかめ検定、発表 会含)	30	31	172	37	33	10	2	2	5	0	0	0	0	292	けん玉遊びに挑戦する事によって、伝統的な遊びの継承とチャレンジする心の養成、成就感を得る体験ができるように実施している。級位制、回数の記録挑戦等が取り組めるように工夫している。また発表の場(新入部児童に向けてのデモ、祭、クリスマス会等イベント発表)を設けるなどモチベーションをあげる機会も設けている。
(2)やんちゃフェスタ(梅小路公園)	1	3	7	5	0	0	0	0	0	0	0	4	0	19	コロナ禍から6年ぶりに開催されてやんちゃフェスタ、今年度は「京都版ミニコミューン」と共催し、新たなやんちゃフェスタになった。ハローワークで仕事をもらい各ブロックの児童館の出し物のお手伝いをして、給料をもらうというシステムで、社会のしくみを学ぶことができたように思う。
(2)百人一首クラブ・京都府大会	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	五色百人一首を使って百人一首に興味心をもたせる取り組みをしている。その中で百人一首という文化を楽しむと共にかたるた取りの形式を行いながら、成就感、チャレンジ精神の涵養をはかる。京都府大会参加もできた。またコロナ禍で企画できていなかった近隣児童館との交流を再開している。
(2)書道教室	12	39	39	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	書道教室は毎月1回「書の面白さ」を伝える機会として実施している。書初めをはじめ、長半紙を使ったり、先生のお手本だけでなく、「書いてみたい字にトライ」したり、「自分の名前を書いてみる」等講師の先生の工夫で楽しんで書く機会となっている。
(1)作って食べようクッキング教室	6	29	46	31	5	3	0	46	18	3	10	0	32	223	異年齢での班単位でクッキングを行い、班単位で試食も行う。またクッキングシンポジウムにて、児童が制作するメニューを決定している。
(2)作って遊ぼうクラフト教室	20	86	97	86	24	8	2	6	4	0	0	0	0	313	題材・素材を用意し、簡単な手作りおもちゃや工作に取り組んでいる。「簡単な道具や廃材等を使ってその後遊べる」ものを制作している。
(3)入部式・修了式	2	24	31	25	16	6	2	0	0	0	0	0	0	104	新入部生(1年生)の入部式を実施している。儀式的な式典の中にも上級生によるお祝いのことばや歌など、あたたかい雰囲気の中で実施することができている。
(3)お楽しみ遠足(3/24)	1	12	19	16	4	3	1	0	0	0	0	4	0	59	今年度は、電車を利用し鉄道博物館に出かけた。遠足の班を異年齢で構成し、協力し博物館内でのクイズ(厚生員が作成)を解きながら班で協力し行動した。ケガもなく無事帰還でき、楽しい時間を過ごせた。
(2)将棋クラブ・教室	41	106	132	20	39	21	0	41	3	0	0	0	44	406	毎月およそ4回将棋クラブを実施。うち2回は「将棋教室」として将棋連盟より講師を招いて指導に当たってもらっている。桃山児童館との交流を2回行った。児童にとって、より対戦相手の実感の伴った取り組みになった。今後もこの形で継続していく。
(2)ボードゲームを楽しむ会	18	48	31	57	8	4	1	0	0	0	0	0	0	149	中学生対象から始まった取り組みだが、学童クラブの中でもボードゲームを通して交流していく事の大事さから混合した形で実施している。2人でできるゲームから協力して課題をこなす形のゲームまで幅広いゲームを取り組む機会を設けている。基本は月2回土曜日に実施している。
(2)学童クリスマス会	1	12	18	10	3	3	0	1	1	0	0	0	0	48	例年の季節行事でお楽しみ企画として実施。児童が自分たちで演劇物を計画し、練習して発表するコーナー等司会進行役等も含めて自主的な取組の一つ。スペースが狭い事もあって保護者に参加してもらう事が困難だが、希望する保護者には見学可にしている。
(2)他館とのあそび交流会	6	9	20	17	3	0	0	34	14	0	0	0	4	101	百人一首交流・将棋交流・遊び交流

(2)伝統工芸等体験	1	1	6	3	0	0	0	11	1	0	0	0	0	22	「今日の匠の技を知る！伝統工芸体験」では今年度「京友禅」を教えていただいた。エコバックに何種類かの絵柄があり、それを友禅の絵具を使って彩色していった。花の色のほかしかたなどを教えていただいたりして、児童も思うままに自分の好みの色をおいていき、個性あるエコバックに仕上げた。1年生参加したが、塗り絵感覚で大変満足のいく作品ができあがった。
(2)防災と安全の日・避難訓練	11	117	157	101	32	20	2	14	9	0	0	0	4	456	「防災と安全の日」と「避難訓練」は、双方毎月1回設定し、交通安全・感染症・台風・火災・水害・不審者対応等テーマを設けて指導し、訓練を実施している。また昨年度課題であった「消火訓練」の記録についても留意して実施してきた。
(2)ようこそアーティスト	1	0	4	6	0	0	0	1	1	0	0	0	0	12	今年度は写真家をお招きして、身近な葉っぱや輪ゴムなどをつかって写真の現像技術で、布を染めたりした。子どもたちは目新しい、経験したことのないアートに大変楽しそうにしていた。
(2)みんなで考えるお金の話	1	0	1	8	1	3	1	0	2	0	0	0	0	16	明治安田生命の方が、お金の話をパワポを使ってわかりやすく説明してくださった。日幣の消費
(2)京都こども将棋交流大会予選	1	0	2	0	0	0	0	6	5	0	0	0	0	13	館内で将棋交流大会の予選を行った。日頃対戦している相手ではあるが、自分の技量を駆使し、自分なりに頑張っていた。
(2)京都こども将棋交流大会決勝	1	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	2	将棋交流大会に参加した。他館との試合に意気込み、楽しんで試合をすることができた。

0

*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること